

くまがや自治連だより

ひろば

第15号

平成26年3月発行

介護疲れと高齢者虐待に思う

熊谷市自治会連合会副会長

飯塚 嘉明

私の奈良地区でも年々高齢者が増え、敬老会対象の方が急増しています。中でも独居世帯が増え、地区民生委員と協力し自宅訪問を実施しています。

また、認知症の発症数も増えていきます。実は私の妻も2年ほど前から認知症となり、介護施設に週4日程通所しています。家事は全て私自身でこなし、90歳後半の母も介護状態の現状で、介護疲れを伴うストレスに深刻度は日々増えています。

世間では昨今、高齢者虐待について問題になっています。また、実際に介護する側から冷静にみても、認知症の場合は介護度も重くなり、長期になるにつれ、虐待への深刻度は高まるばかりではないかと痛感しています。

老老介護が増大する昨今、個人での対応には限界があります。地域全体で、認知症予防に取り組むことが、ますます必要となるのではないかと感じております。

撮影場所：中央公園

◇赤城町地区の自治会活動◇

赤城町二丁目自治会長 大谷 武

赤城町地区は、連合組織を持たない3自治会が協力し合い諸活動に取り組んでおります。南は荒川堤防、北は秩父鉄道に挟まれ、加入世帯は3自治会で488世帯（平成25年4月現在）であり、地区内には市営団地、県営団地があり中央には成田用水路が流れている閑静な住宅街です。

赤城町地区には、松風公園、赤城公園、堤公園と3箇所の公園があります。それぞれ3自治会が担当して管理をし、年2回のゴミゼロ運動の他、毎月第3日曜日には公園清掃を実施しております。また、子供たちが安全に登下校できるようスクールガード（見守り）を行っております。9月には敬老会が実施されます。当初は3自治会が合同で



子供みこしの町内巡行

行っておりますでしたが、招待客が多くなり、会場も手狭になったため、町内ごとに日時を決め実施しております。当日出席できない方々については役員により自宅を訪問し、本人と対話をしながら記念品をお渡ししています。

夏には3自治会及び子供育成会の皆さんと協力し、今年で54回目を数える納涼大会を実施しました。子供たちが楽しめるようにとゲーム等を取り入れ、子供たちの夏の一夜の良い思い出を作れたと思います。また、秋には3自治会、子供育成会の皆さんで協力し合い、秋祭りを実施しました。平成元年に町内の有志の方々により発足し、今年で25回目を数えます。内容としては、子供みこしで町内を巡行し、秋祭りに参加した皆さんには全員に赤飯と豚汁等を提供します。また、各家庭より御協力いただいた不用品の販売等を行っております。午後からは日頃皆さんが練習しているカラオケや踊り等の発表会の場となります。メインイベントとして、

荒川中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏が実施され、多くの方々を満悦させていただきました。地域の方々との交流も深まり、最後には全員参加のビンゴゲーム等も取り入れ楽しい一日を過ごし、無事に終了いたしました。これからも自治会役員、地域一丸となりこれら二大行事を続けていき、子供、孫の時代まで残るように頑張っていくと思います。



楽しいビンゴゲーム



荒川中学校吹奏楽部による演奏

◇久下地区の地域活動◇

久下自治会連合会長 福嶋 良三

久下自治会連合会は、熊谷市の東部に位置し、東は行田市及び鴻巣市に接し、南は荒川に接した地域です。熊久・上区・下区・新田及び太井の5つの単位自治会によって構成され、加入世帯数は2,041世帯(平成25年4月現在)です。今回は、公民館・校区連絡協議会などと協力して活動している事業を紹介したいと思います。

◇地区体育祭(久下・太井公民館と共催)

地域住民の健康増進とふれあいを通して、親睦と交流を図ることを目的として、自治会連合会を始め各種団体の協力と多くの参加者により、久下・太井地区体育祭が実施されました。Tシャツを揃



地区体育祭

えたチームや戦い方に工夫を凝らしたチームなどがあり、地区対抗の種目では各地区とも強い団結力や熱の入った応援が見られ盛り上がりしました。また、本年度は特別に、交通安全子供自

転車全国大会で団体10位に入賞した久下小自転車チームの自転車技能走行演技が披露されました。

◇地区敬老会(久下公民館と久下各自治会と共催)

高齢者が年々増加し、高齢化社会となる中、平成25年度の招待者494名を対象に久下地区敬老会が実施されました。本年度は金婚の方が多く、御夫婦で和やかに表彰を受けておられました。式典終了後、久下小ダンス・バトンクラブの子供たちのリズムカルなダンスや、公民館で活動しているグループの工夫をこらした余興などが披露され、大いに楽しんでいただきました。太井地区は太井公民館と共催で実施されております。

◇久下七福神めぐり(久下・太井公民館と共催)

21世紀幕開けの年にスタートした年1回の行事「久下の長土手・七福神めぐり」が、立派な七福神を堤防(土手)に安置し実施されています。人と人とのふれあいによって人の輪(和)が広がる



久下七福神めぐり

のではないかと……そんな願いから始まったこのと。全行程6キロメートルの堤防上に七福神の位置を示す「七福神めぐり」の幟が立ち、それを目印に七福神の周辺に隠されている宝券を探しながら、堤防上の七福神を巡り歩きます。巡り終わった後は、久下公民館で抽選会などが行われ交流を深めました。

◇郷土カルタ大会(校区連絡協議会と共催)

久下小学校区内(久下・太井地区)の歴史や名所などを織り込んだ「久下・太井郷土カルタ」を制作し、子供たちに郷土への関心を高めてもらうと毎年カルタ大会が実施されています。小学生や地区民が参加して小学生・一般・シニア・団体などに分かれ、5〜6人で一組となり、児童も大人も真剣な表情で絵札の数を競い合っていました。



郷土カルタ大会

◇大麻生地区の地域活動◇

大麻生自治会連合会長

小池 正

大麻生自治会連合会は、熊谷市の西部に位置し、広瀬東部、広瀬西部、広瀬団地、ひろせ野鳥の森、小島、上川原、赤城、中郷、西川原、武体、川原明戸の11自治会で構成しており、加入世帯は約1900世帯です。会員の増加が著しい自治会もあります。が、ほとんどの自治会の会員数は微増微減という状況です。

昨年9月の竜巻では、ひろせ野鳥の森と広瀬西部地区が被害に遭いましたが、市内外の皆様から大変温かい御支援をいただきました。本当に



大麻生地区敬老会



仲良く餅つき大会

ありがとうございます。
 それでは、一年の活動を紹介します。

「大麻生地区戦没者合同慰霊祭」(3月)

正光寺を式場に、地区自治会連合会・戦没者遺族会・社会福祉協議会と合同で行っています。昭和31年から始めて、今春で59回を迎えます。戦没者114名の遺族会との連携を深めております。

「大麻生地区敬老会」(9月)

会場は大麻生中学校体育館を使用し、会場づくりを生徒が担当してくれています。大変助かっており、感謝感激しております。毎年300名前後の参加者があり、表彰式後のア

トラクションでは、民謡・手品・フォークダンスなどのサークル活動が披露されます。特に数年前から活動を開始した「おおあそっおやし太鼓」は、グループに子供たちが加わり、大きな拍手喝采を浴びています。

「大麻生地区体育祭」(10月)

大麻生小学校の校庭で実施し、今年で37回目になります。高齢化の影響で競技は怪我をしないような内容が増えてきましたが、21種の競技や自治会対抗戦は健在で、応援も盛り上がっています。

「七つの祝い」(11月)

来春の新就学児が公民館に集い、映画を観たり、記念品をもらったり、地域みんなで成長を祝います。保護者の方も参加していただき、楽しいひとときを過ごしています。

「仲良く餅つき大会」(12月)

1年の締めくくりです。小学校児童が栽培し刈り取ったもち米で餅をつき、からみ餅やあんころ餅を作り、参加者全員で味わいます。毎年、餅が足りなくなるほどの盛況です。

これらの行事は、手間も時間もかかりませんが、地域の連携・連帯を深めるには必要な行事であります。その重要性を認識して、これからも続けていきたいと思っております。



七つの祝い

◇蓮昭寺（常行庵念仏堂）◇

箱田常盤自治会長 根岸 一雄



念仏堂

壇ノ浦の源平合戦の終わりに、直実公は時の高僧法然上人の弟子となり、仏の説法を学び、蓮生として平民に差別なく仏の道を説いて回った。
 天正10年（1582年）智拳幡随意上人が蓮生法師の徳を慕い熊谷を訪れたが、法師が建立した念仏堂は破壊され雑草が覆い茂り、ケモノの通り

道となり荒れ果てていた。これを憂いた上人は、蓮生法師の念仏堂跡に七堂伽藍建立の発願をし、熊谷寺を建立するに当たり、蓮生法師の念仏草庵を箱田村墓地の墓守堂に移した。これが村民により念仏堂と呼ばれ、現在まで残っている。

また、寛文9年（1669年）、丹波の国の善念和尚が熊谷へ二体の菩薩の首部を携え訪れた。善念和尚がかつて丹波の国、亀山の廃寺、宝来寺を訪れて一夜を過ごした時、夢枕に観音菩薩、勢至菩薩が現れ「われは熊谷次郎直実公の娘玉鶴姫、千代鶴姫の信仰する仏である。二人の娘の生まれし、武蔵の国、箱田村へ我らを直ちに連れて行け」と告げた。しかし両菩薩とも身の丈八尺もあり背負うこともできない。すると両菩薩は「しからは我が首部を持って熊谷へ行くがよい」と告げた。そこで、観音菩薩（恵心僧都の作）、勢至菩薩（春日の作）と伝えられている両首部を携えて箱田村に持って来たのであった。箱田村の布施田太郎兵衛政重家に逗留し、その後和尚は高城神社の番人となり、神社を再建した。しかし、善念和尚の本意は、観世音菩薩、勢至菩薩の頭部像を安置する堂を建立することにあった。

その頃忍城主、阿部播磨守正能の息女が眼病を患っており、和尚は高城神社に祈願しこれを治したことがあった。その縁もあり和尚は、阿部播磨守正能公に願って寛文11年（1671年）、高城神社の残木をもって仮堂を建立し、箱田村常行庵念仏堂と称した。

その後、元禄年間に忍城主阿部豊後守正武公が

深く帰依して、2つの菩薩の体の部分と六間四方の本堂を再建し扶持も与えられたと云う。善念和尚は宝永2年（1705年）8月29日80歳で寂した。後年江戸末期、当時の富豪紀国屋文左衛門が来寺し、阿弥陀如来を寄進したので阿弥陀三尊が揃ったと伝えられている。近郷近在の人々の参拝も多く、箱田地域と熊谷の人々の安心安全幸福を今も見守ってくれております。



蓮昭寺境内に建つ墓塔

平成25年度県外研修

10月3日、180人の自治会長の参加による県外研修を開催しました。

本年度は、「焼津市内の自主防災組織の活動について」をテーマに、静岡県焼津市における研修でした。

災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆が互いに協力し合いながら、防災活動に組織的（自主防災組織）に取り組む方法を学ぶため、焼津市危機管理課職員木村貴之主査による自主防災組織の概要説明、小川第12自主防災会の鈴木教司防災委員長及び大富第19自主防災会の増田廣治会長、今村孝利副会長、石田芳雄防災委員長による講演を聞きました。



◇ 焼津市内の自主防災組織の概要について（焼津市危機管理課 木村貴之主査）



東海地震説の叫ばれた1976年以来、市民に自主防災組織の結成を呼びかけ、1978年までの3年間をかけて全市民を対象とした組織の結成を推進し、市内38の自治会で79の自主防災組織作りを完了した。

本市の自主防災組織の特徴は日常の地域活動の単位である自治会を母体としていて、自治会長などの役員が自主防災組織の会長を兼ね、日頃からの地域での付き合いの延長線上に防災活動を位置づけている。

自主防災組織の活動としては、研修会や年3回の防災訓練、それに合わせて防災知識の普及、防災資機材の備蓄・点検、地域内危険箇所の点検・把握、避難計画の作成などを行っている。資機材については、結成当初の標旗、腕章、ヘルメット等小物の整備から始まり、その後、濾水機、消火用可搬ポンプ等の各種機器の整備と、これら資機材を収容する防災倉庫の整備を進めている。

今回、御講演いただく小川第12自主防災会と大富第19自主防災会は、地域と密接な特徴ある活動が評価され、平成24年度静岡県知事褒賞を受賞した。

◇ 多様な人々の視点を活かした地域防災への取り組み（小川第12自主防災会 鈴木教司防災委員長）



地域の高齢化や労働時間帯の男性不在などを補うため、防災委員に2名と自主防救助隊に1名の女性を起用し、より実践的な地域防災活動を行っている。

防災訓練などでは、子ども、女性及び高齢者などが地域防災に参画できるよう環境整備に積極的に取り組み、多様な人々の視点を活かした自主防災活動を行っている。

「普段から顔見知りの関係を構築した地域づくり」を目指して、「地域で暮らす様々な人々の視点を活かした地域防災力」を高めながら、「みんなで助け合える自主防災組織」になれるよう取り組んでいる。

◇ 向こう三軒両隣による自主防災活動

(大富第19自主防災会 増田廣治会長、今村孝利副会長、石田芳雄防災委員長)



大富第19自治会は、3,075世帯が属する焼津市内では大きな自治会である。それを13の町内会に分け、199の組に分け、更に向こう三軒両隣で589のグループに分けて活動している。

向こう三軒両隣グループの主な活動は、「安全カード（自分の家の避難状況を外部に示すカード）」の確認と救助、「被災情報連絡表（家族の誰々が避難していない、連絡が取れない等）」の収集と作成、避難の呼びかけと旗を持っての避難の誘導、要援護者の搬送、グループ内情報の更新等がある。

目新しい活動はないが、グループ毎のリーダーが地域防災活動の核となり、当たり前の活動を、積極的に展開している。

竜巻災害に対する義援金報告

10月8日(火)、熊谷市自治会連合会会長、副会長が熊谷市役所を訪問し、熊谷市長に熊谷市自治会連合会からの義援金を手渡しました。

また、熊谷市自治会連合会から義援金の協力依頼をしたところ、9地区自治会連合会及び263自治会から10,703,109円の義援金をお寄せいただきました。

義援金にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



平成25年度 市長との懇談会

11月28日(木)、熊谷市緑化センター2階研修室において、熊谷市自治会連合会会長、副会長及び総務部会員出席のもと、市長との懇談会を開催しました。

小林芳雄連合会会長があいさつを述べた後、「防犯灯の整備」をテーマに和やかな雰囲気ですら市長と懇談し、今後の自治会活動について理解と協力を求めました。



第4回 親睦グラウンド・ゴルフ大会

10月11日（水）、熊谷スポーツ文化公園内「彩の国くまがやドーム」において、熊谷市自治会連合会第4回親睦グラウンド・ゴルフ大会を開催し、常日頃各自治会で活動している自治会役員が、グラウンド・ゴルフを通じ、健康増進を図るとともに、交流・親睦を深めました。

当日は、61チーム、296名の選手が参加、熊谷市グラウンド・ゴルフ協会の協力をいただき、フェアプレーで和気あいあいと楽しみながらコースを回りました。



箱田常盤自治会 根岸忠雄氏による選手宣誓



富岡市長の始球式



大会の様子

大会の結果

- 優勝 上之五田塚チーム
 準優勝 奈良連合チーム
 第3位 曙・万平G.G月曜会Cチーム

編集後記

昨今の地球規模の異常気象は、各地で大災害を発生させています。比較的自然災害には縁が無いと思われていた熊谷でも、想像を絶する竜巻が発生し、わが西城自治会も甚大な被害を受けました。その後、熊谷市をはじめ多くの皆様から物心両面の温かい御支援、御協力をいただき本当に助かりました。ありがとうございます。地域住民が一致団結し、協力し合うことの大切さを痛感しつつ、一生懸命生活再建に取り組んでおります。

また、「ひろば」15号の発刊にあたりましては、多くの皆様からそれぞれ特色のある自治会活動等の御紹介をいただきました。御寄稿いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、各自治会のますますのご発展をお祈りいたします。

熊谷市自治会連合会副会長

茂木進一

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますと共にご冥福をお祈り申し上げます。

◆池田 和好さん

石原第4自治会長・石原自治会連合会長

平成26年2月9日 逝去